

東日本製鉄所（千葉地区）コークス炉設備改修状況について

1 月 6 日のコークス炉トラブル以降、行政当局のご指導を得ながら、設備の改修を行ってまいりました。その概要につきまして、ご報告いたします。

1. 設備改修状況

今回、コークス炉から発生するガスを無害化处理する燃焼放散装置の迅速開放装置、およびコークス炉で使用するガス燃料を遮断する燃料ガス遮断設備の迅速遮断化のための改修工事、第 7 コークス炉煙突れんが脱落部の修復工事を実施致しました。これらは、電源等の異常が発生した場合、異常燃焼等の抑止を目的としております。

なお、今回損傷した第 6、第 7 コークス炉排ガス煙道集塵装置及び煙道もあわせて修復工事が完了致します。

2. 改修状況の確認

行政当局のご了解を得て、2 月 2 日以降装置の作動確認を計画しております。その際、コークス炉から発生するガスを燃焼放散装置より燃焼放散致します。

これにより、火炎や煙が発生しますが、事故ではなく、環境への影響もありません。

なお、現在、コークス炉は、行政当局のご了解を得て、損傷していない設備により操業を行っております。

3. 今後の対応

1 月 19 日付で、防災活動特別プロジェクトチームを発足させました。①事故の発生原因を徹底的に究明し、設備の総点検を実施すること ②事故再発防止を徹底するため、組織体制を強化すること ③操業過程全般の安全対策、バックアップ体制を拡充すること ④事故発生時に、地域行政・住民の皆様へ速やかに情報提供できる体制を整備すること を目的としまして、千葉地区全設備につき、防災上のリスクを再評価し、防災機能の強化策を検討・立案した上で、保安機能の更なる健全化を図ってまいります。

今後とも千葉地区におきまして、グループ会社を含めた再発防止、一層の安全・防災管理体制の充実に全力を尽くしてまいります。

本件に関するお問合せは、以下にお願いいたします。

J F E スチール(株) 総務部広報室

Tel. 03 (3597) 3166

J F E スチール(株) 東日本製鉄所（千葉地区）総務部総務室

Tel. 043 (262) 2024